

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6.7	表面的な虐待は、誰ひとり行っていないが職員が気づいていない虐待もあるかもしれないという意識を常に持つ。	チームケア・個別ケアが細かく行えるよう、職員間の情報共有を行い、意識の中に無い小さな虐待も防ぐ。	毎年繰り返し虐待についての研修を行い、グループ施設も含めて全体で行っている。また、小テストやグループワークも積極的に行っている。	12ヶ月
2	38	その人の希望の沿った一人ひとりのペースを大切にしたい毎日を送ってもらおう。	日々のその人らしい暮らしの実現に向けて多忙であっても、その人の声の耳を傾け思いを尊重する。	職員同士小さな気づきメモに書き、貼りだしを行っている。「小さなことからコツコツと」をモットーに一人ひとりの想いを大切にしたいケアに取り組んでいる。	6ヶ月
3	29	地域との交流を積極的に行っているが、今後はボランティアの方々を招いて交流を広げていきたい。	積極的に家族様も交えて地域のイベントやお祭りに参加していきたい。	地域の方々を招いて、苑でお祭りを開く。また、去年来て頂いた近隣高校の吹奏楽部の方に今年も来て頂く。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。